奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018　年		12　月	4　日	記入者	久門たつお	
調査者名	小倉	久門	鈴木	仲谷			

調査対象先	十輪寺(東寺真言宗)						
所在地	奈良市大野町80				電話番号	0745-48-2001	
代表者 調査対応者	森崎隆弘住職						
対象文化財	彫刻	県指定:	1　件	国宝:	件	重文:	件
	建造物	県指定:	件 棟	国宝:	件 棟	重文:	件 棟

地震対策

①対策の現況	◉ A:実施済　○ B:一部実施済　○ C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、内容	本堂は2代前が江戸後期に落雷で全焼し、再建本堂も傷みが進み、檀家約300戸の支援を得て平成25年に新築した。瓦屋根は軽量化し、内部も板壁、格天井など随所で耐震構造にしている。
	今後の予定	特にない。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施していない理由	□ 対策の必要がない　□ 資金が足りない □ その他(　　　　　　　　)
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	◉ A:実施済　○ B:一部実施済　○ C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、内容	県指定の阿弥陀如来坐像安置の本堂には煙感知器を設け、消火器も配備、外部ひさし下にサイレンを取り付けている。本堂屋根に避雷針も設置。境内には消火栓、ホース格納庫を設けている。
	今後の予定	特にない。
	要望	特にない。
③ ①の回答が Cの場合	実施していない理由	□ 対策の必要がない　□ 資金が足りない □ その他(　　　　　　　　)
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財（彫刻・建造物）の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	十輪寺（東寺真言宗）

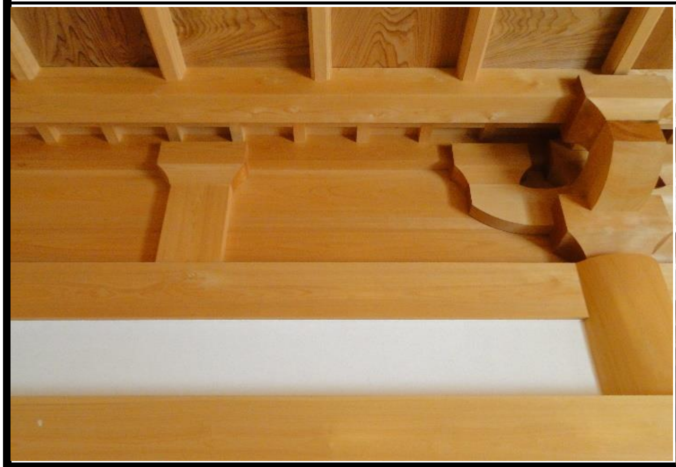
獣害・白アリ等の対策

①獣害等被害	◉ A：経験あり	○ B：経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	新築前の本堂ではイタチ、テンなどが出没していたが、現在はない。
③今後	今後の予定、要望	特にない。

檀家の寄付金などで平成25年新築の十輪寺本堂

県指定の木造釈迦如来坐像。永禄6年（1563）作

壁面上部の板壁で耐震性をアップ



耐震性に配慮した格天井

本堂の避雷針（左上）と消火器

【調査票記入者（久門たつお）の感想】

県指定の仏像を安置する本堂の2代前が江戸時代に落雷で全焼したとのこと。2013年に新築した本堂には避雷針がしっかり設けられている。地震・火災には新築時に入念な対策が講じられている。